

注3

大学番号：国064

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学

平成30年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 大学院ヘルスシステム統合科学研究科

＜ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

＜ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	30
2. 授業科目の概要	34
3. 施設・設備の整備状況、経費	38
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	39
5. 教員組織の状況	43
6. 留意事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	54

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

〒700-8558

岡山県岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	( マキノ ヒロフミ ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	( タカハシ カヨ ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
研究科長	( セノオ マサハル ) 妹尾昌治 (平成30年4月1日)		
専攻長	( )  (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え直し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻 (博士前期課程)  修士(統合科学)	学際領域	2年	80人	160人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		80 ( - ) [ - ]		( ) ( ) [ ]		1.06倍	
志願者数		102 ( - ) [ 9 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数		101 ( - ) [ 9 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数		90 ( - ) [ 8 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数		85 ( - ) [ 8 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A		1.06					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	85 [ 8 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	85 [ 8 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	85 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合 計	85 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科目	ヘルスシステム統合科学特別研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	医療政策	1前②	1									3
	医学研究概論	1前①	1									1
	ケアの比較文化論	1後③	1									1
	バイオ・創薬科学概論	1・2前①	1			6	2					
	医療機器材料学概論	1・2前①	1			5	2	1				
	ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論	1・2前①	1			9	3	1				
	ヘルスシステム統合科学演習	1後③	1			8	1	2				
	実践ヘルスシステム統合科学	1後④	1			8	1	2				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ	1前①	1			4	1	1				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ	1前②	1			3	1	1				
	倫理総論	1前②	1			2		1				
	技術表現発表学	1後③	1			19						
	ヘルスシステム統合科学専門英語	1後④	1			19		2	1			
	医療管理	1後③		1								
	先進病院実習	1前②		1		2						
	ヘルスシステム統合科学インターンシップ	1通		2		4	1	1				
	ビッグデータ構築・解析学	1・2後④		1		2						
	ビッグデータ学	1・2後③		1		4	1	1				
安全インタフェースシステム学	1・2前①		1		1							
医療ビジネスマネジメント概論	1前②		1								1	
老いと看取りと死の文化論	1・2後④		1								4	
死生観の宗教社会学	1・2前②		1								1	
ケア学	1・2前①		1		1						1	
ケア学演習	1・2前①		1		1						7	
専門科目	人工生体機能分子設計学	1・2後③		1		1			1			
	分子酵素学	1・2後③		1			1					
	分子生理学	1・2前②		1		1						
	遺伝子機能制御工学	1・2前①		1					1			
	細胞内シグナル伝達科学	1・2前②		1		1				1		
	細胞機能工学	1・2前②		1			1					
	生体材料設計学	1・2前②		1		1						
	生体材料科学	1・2後④		1			1					
	RNA工学	1・2前②		1		1						
	蛋白質分子工学	1・2前②		1			1					
	ナノバイオ分子設計学	1・2前②		1		1						
	分子細胞生物学	1・2前①		1			1					
	オルガネラシステム工学	1・2前①		1			1					
	組織工学概論	1・2後④		1								2
	音声情報処理特論Ⅰ	1・2前①		1		1						
	音声情報処理特論Ⅱ	1・2前②		1		1						
	情報学習理論	1・2後③		1				1				
	ネットワークアーキテクチャⅠ	1・2前①		1		1						
	ネットワークアーキテクチャⅡ	1・2前②		1		1						
	センシング工学特論	1・2前①		1		1						
光計測工学特論	1・2前①		1			1						
知能工学特論	1・2後③		1				1					
医用ロボット学特論	1・2前②		1					1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科目	ヘルスシステム統合科学特別研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	医療政策	1前②	1									3
	医学研究概論	1前①	1									1
	ケアの比較文化論	1後③	1									1
	バイオ・創薬科学概論	1・2前①	1			6	2					
	医療機器材料学概論	1・2前①	1			5	2	1				
	ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論	1・2前①	1			9	3	1				
	ヘルスシステム統合科学演習	1後③	1			8	1	2				
	実践ヘルスシステム統合科学	1後④	1			8	1	2				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ	1前①	1			4	1	1				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ	1前②	1			3	1	1				
	倫理総論	1前②	1			2		1				
	技術表現発表学	1後③	1			19						
	ヘルスシステム統合科学専門英語	1後④	1			19		2	1			
	医療管理	1後③		1								
	先進病院実習	1前②		1		2						
	ヘルスシステム統合科学インターンシップ	1通		2		4	1	1				
	ビッグデータ構築・解析学	1・2後④		1		2						
	ビッグデータ学	1・2後③		1		4	1	1				
安全インタフェースシステム学	1・2前①		1		1							
医療ビジネスマネジメント概論	1前②		1								1	
老いと看取りと死の文化論	1・2後④		1								4	
死生観の宗教社会学	1・2前②		1								1	
ケア学	1・2前①		1		1						1	
ケア学演習	1・2前①		1		1						6	
専門科目	人工生体機能分子設計学	1・2後③		1		1				1		
	分子酵素学	1・2後③		1			1					
	分子生理学	1・2前②		1		1						
	遺伝子機能制御工学	1・2前①		1						1		
	細胞内シグナル伝達科学	1・2前②		1		1				1		
	細胞機能工学	1・2前②		1			1					
	生体材料設計学	1・2前②		1		1						
	生体材料科学	1・2後④		1			1					
	RNA工学	1・2前②		1		1						
	蛋白質分子工学	1・2前②		1			1					
	ナノバイオ分子設計学	1・2前②		1		1						
	分子細胞生物学	1・2前①		1			1					
	オルガネラシステム工学	1・2前①		1			1					
	組織工学概論	1・2後④		1								2
	音声情報処理特論Ⅰ	1・2前①		1		1						
	音声情報処理特論Ⅱ	1・2前②		1		1						
	情報学習理論	1・2後③		1				1				
	ネットワークアーキテクチャⅠ	1・2前①		1		1						
	ネットワークアーキテクチャⅡ	1・2前②		1		1						
	センシング工学特論	1・2前①		1		1						
光計測工学特論	1・2前①		1			1						
知能工学特論	1・2後③		1					1				
医用ロボット学特論	1・2前②		1					1				





(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・兼任教員の辞退により、「ケア学演習」の兼任・兼担を「7」から「6」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	67 科目	科目	82 科目	15 科目 [ ]	67 科目 [ ]	科目 [ ]	82 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。
-------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	671,441 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	671,441 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	92,955 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	92,955 m <sup>2</sup>			
	小 計	764,396 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	764,396 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	41,161 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	41,161 m <sup>2</sup>			
	合 計	805,557 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	805,557 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	( 346,753 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 346,753 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 13 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	ヘルスシステム統合科学研究科		39 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明なため、大学全体の数（機械・器具、標本を除く） 設置計画時から設置時まで新たに機械・器具等を整備したため。
		ヘルスシステム統合科学研究科	2,049,625 [679,361] (2,049,625 [679,361])	49,858 [17,410] (49,858 [17,410])	22,230 [22,225] (22,230 [22,225])	5,537 (5,537)	650 552 (650 552)	
	計	2,049,625 [679,361] (2,049,625 [679,361])	49,858 [17,410] (49,858 [17,410])	22,230 [22,225] (22,230 [22,225])	5,537 (5,537)	650 552 (650 552)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	20,738 m <sup>2</sup>		1,553 席		1,514,666 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	10,897 m <sup>2</sup>		陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、プール等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学部					学士(文学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.04	平成16年度		
教育学部					学士(教育学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000		1.03	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.00	昭和53年度		
法学部					学士(法学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科									
昼間コース	4	205	—	820		1.02	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.07	平成16年度		
経済学部					学士(経済学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科									
昼間コース	4	205	—	820		1.04	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.06	平成16年度		
理学部					学士(理学), 学士(学術)	1.06		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	3年次20	80		1.08	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.04	平成7年度		
化学科	4	30		120		1.09	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.06	平成7年度		
地球科学科	4	25		100		1.06	平成7年度		
医学部					学士(医学), 学士(看護学), 学士(保健学), 学士(学術)	1.00		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	2年次5	712		1.00	昭和24年度		
保健学科						0.99			
看護学専攻	4	80	3年次10	340		1.00	平成10年度		
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170		1.00	平成10年度		
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170		1.00	平成10年度		
歯学部					学士(歯学)	1.00		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	48	2年次5	308		1.00	昭和54年度		学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学), 学士(創薬科学), 学士(学術)	1.02		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	240		1.02	平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.04	平成18年度		

工学部				学士(工学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械システム系学科	4	160	3年次30	640	1.02	平成23年度		
電気通信系学科	4	100		400	1.06	平成23年度		
情報系学科	4	60		240	1.02	平成23年度		
化学生命系学科	4	140		560	1.02	平成23年度		
通信ネットワーク工学科	4	—	—	—	—	平成12年度		平成23年度より学生募集停止
環境理工学部				学士(環境理工学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.03	平成6年度		
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.05	平成6年度		
環境管理工学科	4	40	—	160	1.04	平成6年度		
環境物質工学科	4	40	—	160	1.05	平成6年度		
農学部				学士(農学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.04	昭和61年度		
教育学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)				修士(教育学)	1.18			
教育科学専攻	2	37	—	37	1.18	平成30年度		平成30年度より学生募集停止
学校教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
発達支援学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
教科教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
教育臨床心理学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
(専門職学位課程)				教職修士(専門職)	0.88			
教職実践専攻	2	45	—	45	0.88	平成30年度		平成30年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
社会文化科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)				修士(文学), 修士(法学), 修士(経済学), 修士(経営学), 修士(公共政策学), 修士(文化科学), 修士(学術)	0.53			
国際社会専攻	2	14	—	14	0.28	平成30年度		平成30年度より学生募集停止
日本・アジア文化専攻	2	12	—	12	1.08	平成30年度		
人間社会文化専攻	2	30	—	30	0.50	平成30年度		
法政理論専攻	2	15	—	15	0.46	平成30年度		
経済理論・政策専攻	2	6	—	6	0.33	平成30年度		
組織経営専攻	2	11	—	25	0.59	平成18年度	平成30年度から定員減 14→11	
社会文化基礎学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度		
比較社会文化学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度		
公共政策科学専攻	2	—	—	—	—	平成18年度		
(博士後期課程)				博士(文学), 博士(法学), 博士(経済学), 博士(経営学), 博士(文化科学), 博士(学術)	0.71			
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.71	平成16年度		
自然科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	

(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(学術)	1.08			
数理物理科学専攻	2	38	—	76	0.93	平成11年度		
分子科学専攻	2	24	—	48	0.89	平成17年度		
生物科学専攻	2	22	—	44	0.74	平成17年度		
地球科学専攻	2	16	—	32	0.96	平成11年度		
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.20	平成11年度		
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.09	平成11年度		
応用化学専攻	2	50	—	100	1.14	平成27年度		
生命医用工学専攻	2	—	—	—	—	平成27年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(学術)	0.54			
数理物理科学専攻	3	6	—	26	0.52	平成24年度		平成30年度から定員減 10→6
地球生命物質科学専攻	3	11	—	45	0.58	平成24年度		平成30年度から定員減 17→11
学際基礎科学専攻	3	10	—	10	0.50	平成30年度		
産業創成工学専攻	3	18	—	60	0.50	平成17年度		平成30年度から定員減 21→18
応用化学専攻	3	5	—	19	0.61	平成27年度		平成30年度から定員減 7→5
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	平成24年度		平成27年度より学生募集停止
生命医用工学専攻	3	—	—	—	—	平成27年度		平成30年度より学生募集停止
(博士課程) 5年一貫制				博士(理学), 博士(学術)	0.70			
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.70	平成21年度		
保健学研究科							岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(博士前期課程)				修士(看護学), 修士(保健学)	1.01			
保健学専攻	2	26	—	52	1.01	平成15年度		
(博士後期課程)				博士(看護学), 博士(保健学)	1.03			
保健学専攻	3	10	—	30	1.03	平成17年度		
環境生命科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(環境学), 修士(農学), 修士(学術)	0.90			
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	0.68	平成24年度		
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.97	平成24年度		
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.86	平成24年度		
生物資源科学専攻	2	25	—	50	1.12	平成24年度		
生物生産科学専攻	2	38	—	76	0.94	平成24年度		
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(環境学), 博士(農学), 博士(学術)	0.65			
環境科学専攻	3	22	—	66	0.69	平成24年度		
農生命科学専攻	3	20	—	60	0.61	平成24年度		
医歯薬学総合研究科							岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(修士課程)				修士(医科学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術)	1.22			
医歯科学専攻	2	20	—	40	1.22	平成17年度		
(博士前期課程)					0.88			

薬科学専攻	2	37	—	77	修士(薬科学)	0.88	平成22年度		平成30年度から定員減 40→37
(博士後期課程)									
薬科学専攻	3	9	—	29	博士(薬科学), 博士(薬学), 博士(学術)	0.31	平成24年度		平成30年度から定員減 10→9
(博士課程)									
生体制御科学専攻	4	25	—	100	博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	1.09	平成17年度		
病態制御科学専攻	4	62	—	248		1.19	平成17年度		
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112		1.06	平成17年度		
社会環境生命科学専攻	4	13	—	52		1.05	平成17年度		
ヘルスシステム統合科学研究科								岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)									
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	—	80	修士(統合科学)	1.06	平成30年度		
(博士後期課程)									
ヘルスシステム統合科学専攻	3	16	—	16	博士(統合科学)	0.06	平成30年度		
法務研究科								岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(専門職学位課程)									
法務専攻	3	24	—	78	法務博士(専門職)	0.62	平成16年度		平成29年度から定員減 30→24

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	教授	世良 貴史 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 人工生体機能分子設計学 ※
専	教授	井出 徹 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 分子生理学 【隔年】
専	教授	徳光 浩 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 細胞内シグナル伝達科学 ※【隔年】
専	教授	早川 聡 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体材料設計学 【隔年】
専	教授	大槻 高史 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 RNA工学 【隔年】
専	教授	妹尾 昌治 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ ナノバイオ分子設計学 【隔年】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	教授	世良 貴史 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 人工生体機能分子設計学 ※
専	教授	井出 徹 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 分子生理学 【隔年】
専	教授	徳光 浩 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 細胞内シグナル伝達科学 ※【隔年】
専	教授	早川 聡 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体材料設計学 【隔年】
専	教授	大槻 高史 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 RNA工学 【隔年】
専	教授	妹尾 昌治 <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ ナノバイオ分子設計学 【隔年】



(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	阿部 匡伸 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論 I ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ構築・解析学 ※ ビッグデータ学 ※ 音声情報処理特論 I 音声情報処理特論 II
		横平 徳美 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ネットワークアーキテクチャ I ネットワークアーキテクチャ II
		塚田 啓二 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 センシング工学特論
		五福 明夫 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論 I ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ構築・解析学 ※ ビッグデータ学 ※ 安全インタフェースシステム学
		呉 景龍 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 認知神経科学
専	教授	松岡 順治 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論 I ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習 医療対話学 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	阿部 匡伸 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論 I ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ構築・解析学 ※ ビッグデータ学 ※ 音声情報処理特論 I 音声情報処理特論 II
		横平 徳美 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ネットワークアーキテクチャ I ネットワークアーキテクチャ II
		塚田 啓二 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 センシング工学特論
		五福 明夫 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論 I ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ構築・解析学 ※ ビッグデータ学 ※ 安全インタフェースシステム学
		呉 景龍 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 認知神経科学
専	教授	松岡 順治 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論 I ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習 医療対話学 ※

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	永坂 岳司 ＜平成31年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習 医療対話学 ※
兼任	講師	永坂 岳司 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
専	教授	岡 久雄 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専	教授	森田 瑞樹 ＜平成31年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専	教授	兵藤 好美 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ケア学 ※ ケア学演習 ※ 実践基礎看護学特論 医療対話学 ※
専	教授	狩野 光伸 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ 臨床科学概論 【隔年】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	永坂 岳司 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
専	教授	岡 久雄 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専	教授	森田 瑞樹 ＜平成31年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専	教授	兵藤 好美 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ケア学 ※ ケア学演習 ※ 実践基礎看護学特論 医療対話学 ※
専	教授	狩野 光伸 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ 臨床科学概論 【隔年】

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	出村 和彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヒューマン共生思想哲学 ヒューマンライフ価値論
		本村 昌文 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ 東アジア老年思想文化論 日本思想史・死生観特論
		山下 登 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ 倫理総論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 医療関係法1(医療機関法) 医療関係法2(医療行為法) 医事・薬事法概論
		吉葉 恭行 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 倫理総論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 科学技術史・技術論 高齢社会科学技術論
		藤井 大児 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※
専	准教授	飛松 孝正 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※
専	准教授	金山 直樹 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 細胞機能工学 【隔年】
専	准教授	吉岡 朋彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 生体材料科学 【隔年】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	出村 和彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヒューマン共生思想哲学 ヒューマンライフ価値論
		本村 昌文 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ 東アジア老年思想文化論 日本思想史・死生観特論
		山下 登 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ 倫理総論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 医療関係法1(医療機関法) 医療関係法2(医療行為法) 医事・薬事法概論
		吉葉 恭行 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 倫理総論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 科学技術史・技術論 高齢社会科学技術論
		藤井 大児 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※
専	准教授	飛松 孝正 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※
専	准教授	金山 直樹 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 細胞機能工学 【隔年】
専	准教授	吉岡 朋彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 生体材料科学 【隔年】

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 蛋白質分子工学 【隔年】
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 分子細胞生物学 【隔年】
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ オルガネラシステム工学 【隔年】
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ センシング工学特論 光計測工学特論
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 生体信号処理特論
専	准教授	笈田 将皇 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学インターシッパ ビッグデータ学 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ 生命健康情報理工学演習
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 機能修復医学特論
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ学 ※ ソーシャルイノベーション論
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 情報学管理論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 蛋白質分子工学 【隔年】
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 分子細胞生物学 【隔年】
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ オルガネラシステム工学 【隔年】
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ センシング工学特論 光計測工学特論
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 生体信号処理特論
専	准教授	笈田 将皇 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学インターシッパ ビッグデータ学 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ 生命健康情報理工学演習
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 機能修復医学特論
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ学 ※ ソーシャルイノベーション論
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 情報学管理論

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
専	講師	亀川 哲志 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料科学概論 ※ 知能工学特論 医用ロボット学特論
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ 倫理総論 ※ 臨床死生学Ⅰ 臨床死生学Ⅱ
専	助教	森 光一 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 人工生体機能分子設計学 ※
専	助教	早川 徹 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 遺伝子機能制御工学 【隔年】
専	助教	曲 正樹 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 細胞内シグナル伝達科学 ※【隔年】
専	助教	袴田 玲 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学専門英語
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞ 疫学入門
兼任	教授	西田 和弘 ＜平成30年4月＞ 介護福祉と法 【隔年】
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞ 医療経営法務 【隔年】
兼任	教授	山田 了士 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	光延 文裕 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞ 組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	教授	深井 喜代子 ＜平成30年4月＞ ケア学 ※ ケア学演習 ※
兼任	教授	宮原 信明 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	谷垣 静子 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	山岡 聖典 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
専	講師	亀川 哲志 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料科学概論 ※ 知能工学特論 医用ロボット学特論
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ 倫理総論 ※ 臨床死生学Ⅰ 臨床死生学Ⅱ
専	助教	森 光一 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 人工生体機能分子設計学 ※
専	助教	早川 徹 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 遺伝子機能制御工学 【隔年】
専	助教	曲 正樹 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 細胞内シグナル伝達科学 ※【隔年】
専	助教	袴田 玲 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学専門英語
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞ 疫学入門
兼任	教授	西田 和弘 ＜平成30年4月＞ 介護福祉と法 【隔年】
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞ 医療経営法務 【隔年】
兼任	教授	山田 了士 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	光延 文裕 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞ 組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	教授	深井 喜代子 ＜平成30年4月＞ ケア学 ※ ケア学演習 ※
兼任	教授	宮原 信明 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	谷垣 静子 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	山岡 聖典 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 信也 ＜平成30年4月＞ 医療対話学 ※
兼任	教授	中塚 幹也 ＜平成30年4月＞ 医療対話学 ※
兼任	教授	千田 益生 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	保科 英子 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	教授	金澤 右 ＜平成30年4月＞ 先進病院実習 ※
兼任	教授	那須 保友 ＜平成30年4月＞ 医学研究概論
兼任	教授	中瀬 克己 ＜平成30年4月＞ 医療政策 ※
兼任	教授	佐々木 守俊 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	頼藤 貴志 ＜平成30年4月＞ 疫学入門
兼任	准教授	中村 一文 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	寺田 整司 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	岡田 正弘 ＜平成30年4月＞ 組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	准教授	内田 治仁 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	助教	芳我 ちより ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	准教授	沖中 由美 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	准教授	渡邊 豊彦 ＜平成30年4月＞ 医療管理
兼任	准教授	原田 新 ＜平成30年4月＞ 医療政策 ※
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT ＜平成30年4月＞ 技術表現発表学
兼任	准教授	中東 靖恵 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	松村 圭一郎 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	大貫 俊夫 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	講師	山崎 修 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 信也 ＜平成30年4月＞ 医療対話学 ※
兼任	教授	中塚 幹也 ＜平成30年4月＞ 医療対話学 ※
兼任	教授	千田 益生 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	保科 英子 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	教授	金澤 右 ＜平成30年4月＞ 先進病院実習 ※
兼任	教授	那須 保友 ＜平成30年4月＞ 医学研究概論
兼任	講師	中瀬 克己 ＜平成30年4月＞ 医療政策 ※
兼任	教授	佐々木 守俊 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	頼藤 貴志 ＜平成30年4月＞ 疫学入門
兼任	准教授	中村 一文 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	寺田 整司 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	岡田 正弘 ＜平成30年4月＞ 組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	准教授	内田 治仁 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	芳我 ちより ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	准教授	沖中 由美 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	准教授	渡邊 豊彦 ＜平成30年4月＞ 医療管理
兼任	准教授	原田 新 ＜平成30年4月＞ 医療政策 ※
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT ＜平成30年4月＞ 技術表現発表学
兼任	准教授	中東 靖恵 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	松村 圭一郎 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	大貫 俊夫 ＜平成30年4月＞ 老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	講師	山崎 修 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼任	講師	片岡 久美恵 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	講師	小野 美穂 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	江口 潤 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	講師	西崎 正彦 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
兼任	講師	馬場 雅子 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	小野 真由美 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ケアの比較文化論
兼任	助教	平見 有希 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	助教	吉田 龍一 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	助教	片山 英樹 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
兼任	助教	井上 真一郎 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	助教	三好 智子 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	助教	岩淵 泰 ＜平成30年4月＞ 医療政策 ※
兼任	講師	大倉 美穂 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	長江 宏美 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	林 行成 ＜平成30年4月＞ 医療ビジネスマネジメント概論 医療福祉制度比較論
兼任	講師	赤堀 勝彦 ＜平成30年4月＞ 医療リスクマネジメント概論
兼任	講師	諸岡 了介 ＜平成30年4月＞ 死生観の宗教社会学

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
兼任	講師	片岡 久美恵 ＜平成30年4月＞ ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	講師	小野 美穂 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	江口 潤 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	講師	西崎 正彦 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※ 社会医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
兼任	講師	馬場 雅子 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	小野 真由美 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ケアの比較文化論
兼任	助教	平見 有希 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	助教	吉田 龍一 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	助教	片山 英樹 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
兼任	助教	井上 真一郎 ＜平成30年4月＞ 社会医療疾病管理論 ※
兼任	助教	三好 智子 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理論 ※
兼任	助教	岩淵 泰 ＜平成30年4月＞ 医療政策 ※
兼任	講師	長江 宏美 ＜平成30年4月＞ ケア学演習 ※
兼任	講師	林 行成 ＜平成30年4月＞ 医療ビジネスマネジメント概論 医療福祉制度比較論
兼任	講師	赤堀 勝彦 ＜平成30年4月＞ 医療リスクマネジメント概論
兼任	講師	諸岡 了介 ＜平成30年4月＞ 死生観の宗教社会学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・平成31年4月専任教員として就任予定であった永坂教授が就任を辞退した。現在、担当予定科目を担当する後任補充人事を進めており、平成30年度中には教員資格審査を受け科目を担当する予定である。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
12	8	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
19	11	4	4	38	20	11	4	4	39	18	11	4	4	37
(20)	(11)	(4)	(4)	(39)						[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ 1 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
35	0	3			36	0	3			34	0	3		
(36)	(0)	(3)								[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{38} = \boxed{97.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	永坂 岳司	必修	ヘルスシステム統合科学特別研究	③	他大学へ転出し、本学への就任する意思が無いことが確認されたため就任辞退（30）	
			必修	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	③		
			必修	ヒューマンインベション・ヘルスケア科学概論 ※	③		
			必修	ヘルスシステム統合科学総論1 ※	③		
			必修	技術表現発表学	③		
			必修	ヘルスシステム統合科学専門英語	③		
			選択	先進病院実習 ※	③		
			選択	ヘルスプロモーション科学 ※	③		
			選択	先端医療疾病管理論 ※	③		
			選択	社会医療疾病管理論 ※	③		
			選択	ヘルスシステム統合科学応用学実習	③		
			選択	医療対話学 ※	③		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	6 科目
		選択	6 科目	選択	0 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	0 科目	計	12 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし。					
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	6 科目
		選択	6 科目	選択	0 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	0 科目	計	12 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{38} = 2.63 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし。					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

永坂教授は平成31年4月に専任教員として就任予定であったが、平成30年4月2日付け本人から就任辞退届けが提出された。現在、永坂教授が担当する予定であった科目を担当できる後任補充人事を進めており、平成30年度中には教員資格審査を受け平成31年4月からは問題無く科目を担当する予定であることから、学生の履修等へは影響は生じない見込みである。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

＜ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）＞

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数 34単位 必修科目23単位, 選択科目11単位  ② 施設・設備 a 講義室163室 (16,812㎡) 研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数 b 自習室9室 (461㎡) c 図書2,049,625冊 研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 研究科学務委員会 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 学務委員会としてH30年度中に11回開催予定 (委員長の他、4名：研究分野毎選出の委員) c 委員会の審議事項等 ・研究科の教務及びFDに関する事項, 入試制度方法に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 7. 平成29年度岡山大学新任教員研修 (H29. 4. 27開催) 岡山大学の教育課題, FD・SDワークショップ, FD・SD講演, 学生のメンタルヘルスについて説明 1. 平成29年度教職員FD・SD研修「桃太郎フォーラム」 (H29. 9. 12開催) 学外識者によるFD講演, 教職員及び学生による分科会・セミナーの実施 4. ヘルスシステム統合研究科開設前FD研修会 b 実施方法 7. 講演方式 (一部ワークショップ形式) 1. 講演方式・セミナー形式 4. 講演会方式・ワークショップ形式 c 開催状況 (教員の参加状況含む) 7. H29. 4. 27 (49名) 開催 1. H29. 9. 12 (235名) 開催 4. H30. 3. 30 (42名) 開催 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学修意欲を高める授業の工夫, ルーブリックの活用における授業設計と成績評価 4. に於いては, 学生に対する教育・研究指導方針について, 各部門における意識の共有を図った。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 全学的に実施, 前期前半に1回実施予定 b 教員や学生への公開状況, 方法等 集計結果を学内限定のHP内で公開予定
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期  
・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える平成32年3月以降を予定している。

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画  
・平成33年度に大学改革支援・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 8 月 31 日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

〒700-8558

岡山県岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	( マキノ ヒロフミ ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	( タカハシ カヨ ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
研究科長	( セノオ マサハル ) 妹尾昌治 (平成30年4月1日)		
専攻長	( )  (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え直し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。



(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻 (博士後期課程)  博士(統合科学)	学際領域	3年	16人	48人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	16 ( ) [ ]								0.06倍	
志願者数	1 ( - ) [ - ]									
受験者数	1 ( - ) [ - ]									
合格者数	1 ( - ) [ - ]									
B 入学者数	1 ( - ) [ - ]									
入学定員超過率 B/A	0.06									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	1 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	1 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	1人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	1人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
統合科目	ヘルスシステム統合科学特論	1-2-3前①②	1			8					1
	ヘルスシステム統合科学総合演習	1-2-3後③④	2			9	1	1			
	ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ	1-2-3通	2			8	1	2			
	実務インターンシップ	1-2-3通	1			8	1	2			
専門科目	生体機能制御学	1-2-3後④		1		1					
	酵素機能解析学	1-2-3後④		1			1				
	1分子生理学	1-2-3後③		1		1					
	シグナル伝達創薬	1-2-3後③		1		1					
	細胞機能開発学	1-2-3後③		1			1				
	生体素材開発学	1-2-3後③		1		1					
	生体材料表面科学	1-2-3後③		1			1				
	化学生物学	1-2-3後③		1		1					
	蛋白質分子設計学	1-2-3後④		1			1				
	生体ナノ分子工学	1-2-3後④		1		1					
	分子遺伝学	1-2-3前②		1			1				
	オルガネラ機能情報設計学	1-2-3後③		1			1				
	組織工学特論	1-2-3後④		1							2
	ヒューマンインタフェース特論	1-2-3前②		1		1					
	情報数理論	1-2-3前①		1				1			
	ネットワーク性能評価論	1-2-3後③		1		1					
	センサデバイス工学	1-2-3前①		1		1					
	計測システム応用学	1-2-3後③		1			1				
	人間支援インタフェース論	1-2-3前①		1		1					
	機能ロボット設計論	1-2-3前②		1				1			
	神経医工学	1-2-3後④		1		1					
	生体信号計測学	1-2-3後③		1			1				
	複合機能設計学	1-2-3前②		1							1
	細胞制御材料学	1-2-3前②		1							1
	組織再建材料学	1-2-3前②		1							1
	機能修復医学	1-2-3前①		1			1				
	インタープロフェッショナルワーク論	1-2-3前①②		2		1	1				5
	先端医療疾病管理特講	1-2-3前①		1		1					1
	ヘルスシステム統合科学応用学特講	1-2-3前②		1		1					1
	実践基礎看護学特講	1-2-3後③		1		1					
	生命健康情報理工学特講I	1-2-3前①②		1			1				3
	生命健康情報理工学特講II	1-2-3後③④		1			1				3
	生体機能情報学特講	1-2-3前①②		2		1					
臨床研究学	1-2-3後③④		1							2	
医療技術臨床応用学	1-2-3後③		1		1						
医療システムデザイン特論	1-2-3後④		1							2	
医薬品医療機器等法特論	1-2-3前②		1		1						
研究倫理と法特論	1-2-3前①		1		1		1				
医療機器関連法特論	1-2-3後③		1		1						
人間共生哲学思想特論	1-2-3前②		1		1						
東アジア老年思想史特論	1-2-3後③		1		1						
科学技術開発論	1-2-3後④		1		1						
地域社会ヒューマンケア論	1-2-3後④		1							1	
臨床死生学特論	1-2-3前②		1				1				
医療ビジネスマネジメント論	1-2-3前②		1							1	
医療リスクマネジメント論	1-2-3前②		1							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
統合科目	ヘルスシステム統合科学特論	1-2-3前①②	1			8					1
	ヘルスシステム統合科学総合演習	1-2-3後③④	2			9	1	1			
	ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ	1-2-3通	2			8	1	2			
	実務インターンシップ	1-2-3通	1			8	1	2			
専門科目	生体機能制御学	1-2-3後④		1		1					
	酵素機能解析学	1-2-3後④		1			1				
	1分子生理学	1-2-3後③		1		1					
	シグナル伝達創薬	1-2-3後③		1		1					
	細胞機能開発学	1-2-3後③		1			1				
	生体素材開発学	1-2-3後③		1		1					
	生体材料表面科学	1-2-3後③		1			1				
	化学生物学	1-2-3後③		1		1					
	蛋白質分子設計学	1-2-3後④		1			1				
	生体ナノ分子工学	1-2-3後④		1		1					
	分子遺伝学	1-2-3前②		1			1				
	オルガネラ機能情報設計学	1-2-3後③		1			1				
	組織工学特論	1-2-3後④		1							2
	ヒューマンインタフェース特論	1-2-3前②		1		1					
	情報数理論	1-2-3前①		1				1			
	ネットワーク性能評価論	1-2-3後③		1		1					
	センサデバイス工学	1-2-3前①		1		1					
	計測システム応用学	1-2-3後③		1			1				
	人間支援インタフェース論	1-2-3前①		1		1					
	機能ロボット設計論	1-2-3前②		1				1			
	神経医工学	1-2-3後④		1		1					
	生体信号計測学	1-2-3後③		1			1				
	複合機能設計学	1-2-3前②		1							1
	細胞制御材料学	1-2-3前②		1							1
	組織再建材料学	1-2-3前②		1							1
	機能修復医学	1-2-3前①		1			1				
	インタープロフェッショナルワーク論	1-2-3前①②		2		1	1				5
	先端医療疾病管理特講	1-2-3前①		1		1					1
	ヘルスシステム統合科学応用学特講	1-2-3前②		1		1					1
	実践基礎看護学特講	1-2-3後③		1		1					
	生命健康情報理工学特講I	1-2-3前①②		1			1				3
	生命健康情報理工学特講II	1-2-3後③④		1			1				3
	生体機能情報学特講	1-2-3前①②		2		1					
臨床研究学	1-2-3後③④		1							2	
医療技術臨床応用学	1-2-3後③		1		1						
医療システムデザイン特論	1-2-3後④		1							2	
医薬品医療機器等法特論	1-2-3前②		1		1						
研究倫理と法特論	1-2-3前①		1		1		1				
医療機器関連法特論	1-2-3後③		1		1						
人間共生哲学思想特論	1-2-3前②		1		1						
東アジア老年思想史特論	1-2-3後③		1		1						
科学技術開発論	1-2-3後④		1		1						
地域社会ヒューマンケア論	1-2-3後④		1							1	
臨床死生学特論	1-2-3前②		1				1				
医療ビジネスマネジメント論	1-2-3前②		1							1	
医療リスクマネジメント論	1-2-3前②		1							1	

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

特になし
------

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	46 科目	科目	50 科目	4 科目 [       ]	46 科目 [       ]	科目 [       ]	50 科目 [       ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	671,441 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	671,441 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	92,955 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	92,955 m <sup>2</sup>			
	小 計	764,396 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	764,396 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	41,161 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	41,161 m <sup>2</sup>			
	合 計	805,557 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	805,557 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	( 346,753 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 346,753 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 13 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	ヘルスシステム統合科学研究科		38 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明なため、大学全体の数（機械・器具、標本を除く） 設置計画時から設置時まで新たに機械・器具等を整備したため。
		ヘルスシステム統合科学研究科	2,049,625 [679,361] (2,049,625 [679,361])	49,858 [17,410] (49,858 [17,410])	22,230 [22,225] (22,230 [22,225])	5,537 (5,537)	650 552 (650 552)	
	計	2,049,625 [679,361] (2,049,625 [679,361])	49,858 [17,410] (49,858 [17,410])	22,230 [22,225] (22,230 [22,225])	5,537 (5,537)	650 552 (650 552)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	20,738 m <sup>2</sup>		1,553 席		1,514,666 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	10,897 m <sup>2</sup>		陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、プール等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学部					学士(文学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.04	平成16年度		
教育学部					学士(教育学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000		1.03	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.00	昭和53年度		
法学部					学士(法学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科									
昼間コース	4	205	—	820		1.02	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.07	平成16年度		
経済学部					学士(経済学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科									
昼間コース	4	205	—	820		1.04	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.06	平成16年度		
理学部					学士(理学), 学士(学術)	1.06		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	3年次20	80		1.08	平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.04	平成7年度		
化学科	4	30		120		1.09	平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.06	平成7年度		
地球科学科	4	25		100		1.06	平成7年度		
医学部					学士(医学), 学士(看護学), 学士(保健学), 学士(学術)	1.00		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	2年次5	712		1.00	昭和24年度		
保健学科						0.99			
看護学専攻	4	80	3年次10	340		1.00	平成10年度		
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170		1.00	平成10年度		
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170		1.00	平成10年度		
歯学部					学士(歯学)	1.00		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	48	2年次5	308		1.00	昭和54年度		学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学), 学士(創薬科学), 学士(学術)	1.02		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	240		1.02	平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.04	平成18年度		

工学部				学士(工学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械システム系学科	4	160	3年次30	640	1.02	平成23年度		
電気通信系学科	4	100		400	1.06	平成23年度		
情報系学科	4	60		240	1.02	平成23年度		
化学生命系学科	4	140		560	1.02	平成23年度		
通信ネットワーク工学科	4	—	—	—	—	平成12年度		平成23年度より学生募集停止
環境理工学部				学士(環境理工学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.03	平成6年度		
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.05	平成6年度		
環境管理工学科	4	40	—	160	1.04	平成6年度		
環境物質工学科	4	40	—	160	1.05	平成6年度		
農学部				学士(農学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.04	昭和61年度		
教育学研究科 (修士課程)				修士(教育学)	1.18		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
教育科学専攻	2	37	—	37	1.18	平成30年度		平成30年度より学生募集停止
学校教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
発達支援学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
教科教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
教育臨床心理学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
(専門職学位課程)				教職修士(専門職)	0.88			
教職実践専攻	2	45	—	45	0.88	平成30年度		平成30年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	—	—	—	—	平成20年度		
社会文化科学研究科 (博士前期課程)				修士(文学), 修士(法学), 修士(経済学), 修士(経営学), 修士(公共政策学), 修士(文化科学), 修士(学術)	0.53		岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
国際社会専攻	2	14	—	14	0.28	平成30年度		平成30年度より学生募集停止
日本・アジア文化専攻	2	12	—	12	1.08	平成30年度		
人間社会文化専攻	2	30	—	30	0.50	平成30年度		
法政理論専攻	2	15	—	15	0.46	平成30年度		
経済理論・政策専攻	2	6	—	6	0.33	平成30年度		
組織経営専攻	2	11	—	25	0.59	平成18年度	平成30年度から定員減 14→11	
社会文化基礎学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度		
比較社会文化学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度		
公共政策科学専攻	2	—	—	—	—	平成18年度		
(博士後期課程)				博士(文学), 博士(法学), 博士(経済学), 博士(経営学), 博士(文化科学), 博士(学術)	0.71			
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.71	平成16年度		
自然科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	

(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(学術)	1.08			
数理物理科学専攻	2	38	—	76	0.93	平成11年度		
分子科学専攻	2	24	—	48	0.89	平成17年度		
生物科学専攻	2	22	—	44	0.74	平成17年度		
地球科学専攻	2	16	—	32	0.96	平成11年度		
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.20	平成11年度		
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.09	平成11年度		
応用化学専攻	2	50	—	100	1.14	平成27年度		
生命医用工学専攻	2	—	—	—	—	平成27年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(学術)	0.54			
数理物理科学専攻	3	6	—	26	0.52	平成24年度		平成30年度から定員減 10→6
地球生命物質科学専攻	3	11	—	45	0.58	平成24年度		平成30年度から定員減 17→11
学際基礎科学専攻	3	10	—	10	0.50	平成30年度		
産業創成工学専攻	3	18	—	60	0.50	平成17年度		平成30年度から定員減 21→18
応用化学専攻	3	5	—	19	0.61	平成27年度		平成30年度から定員減 7→5
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	平成24年度		平成27年度より学生募集停止
生命医用工学専攻	3	—	—	—	—	平成27年度		平成30年度より学生募集停止
(博士課程) 5年一貫制				博士(理学), 博士(学術)	0.70			
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.70	平成21年度		
保健学研究科							岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(博士前期課程)				修士(看護学), 修士(保健学)	1.01			
保健学専攻	2	26	—	52	1.01	平成15年度		
(博士後期課程)				博士(看護学), 博士(保健学)	1.03			
保健学専攻	3	10	—	30	1.03	平成17年度		
環境生命科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(環境学), 修士(農学), 修士(学術)	0.90			
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	0.68	平成24年度		
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.97	平成24年度		
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.86	平成24年度		
生物資源科学専攻	2	25	—	50	1.12	平成24年度		
生物生産科学専攻	2	38	—	76	0.94	平成24年度		
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(環境学), 博士(農学), 博士(学術)	0.65			
環境科学専攻	3	22	—	66	0.69	平成24年度		
農生命科学専攻	3	20	—	60	0.61	平成24年度		
医歯薬学総合研究科							岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(修士課程)				修士(医科学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術)	1.22			
医歯科学専攻	2	20	—	40	1.22	平成17年度		
(博士前期課程)					0.88			

薬科学専攻	2	37	—	77	修士(薬科学)	0.88	平成22年度		平成30年度から定員減 40→37
(博士後期課程)									
薬科学専攻	3	9	—	29	博士(薬科学), 博士(薬学), 博士(学術)	0.31	平成24年度		平成30年度から定員減 10→9
(博士課程)									
生体制御科学専攻	4	25	—	100	博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	1.09	平成17年度		
病態制御科学専攻	4	62	—	248		1.19	平成17年度		
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112		1.06	平成17年度		
社会環境生命科学専攻	4	13	—	52		1.05	平成17年度		
ヘルスシステム統合科学研究科								岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)									
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	—	80	修士(統合科学)	1.06	平成30年度		
(博士後期課程)									
ヘルスシステム統合科学専攻	3	16	—	16	博士(統合科学)	0.06	平成30年度		
法務研究科								岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(専門職学位課程)									
法務専攻	3	24	—	78	法務博士(専門職)	0.62	平成16年度		平成29年度から定員減 30→24

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	世良 貴史 <平成30年4月> 生体機能制御学 (研究指導)
専	教授	井出 徹 <平成30年4月> 1分子生理学 (研究指導)
専	教授	徳光 浩 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ シグナル伝達創薬 (研究指導)
専	教授	早川 聡 <平成30年4月> 生体素材開発学 (研究指導)
専	教授	大槻 高史 <平成30年4月> 化学生物学 (研究指導)
専	教授	妹尾 昌治 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ 生体ナノ分子工学 (研究指導)
専	教授	阿部 匡伸 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ ヒューマンインタフェース特論 (研究指導)
専	教授	横平 徳美 <平成30年4月> ネットワーク性能評価論 (研究指導)
専	教授	塚田 啓二 <平成30年4月> センサデバイス工学 (研究指導)
専	教授	五福 明夫 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ 人間支援インタフェース論 (研究指導)
専	教授	呉 景龍 <平成30年4月> 神経工学 (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	世良 貴史 <平成30年4月> 生体機能制御学 (研究指導)
専	教授	井出 徹 <平成30年4月> 1分子生理学 (研究指導)
専	教授	徳光 浩 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ シグナル伝達創薬 (研究指導)
専	教授	早川 聡 <平成30年4月> 生体素材開発学 (研究指導)
専	教授	大槻 高史 <平成30年4月> 化学生物学 (研究指導)
専	教授	妹尾 昌治 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ 生体ナノ分子工学 (研究指導)
専	教授	阿部 匡伸 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ ヒューマンインタフェース特論 (研究指導)
専	教授	横平 徳美 <平成30年4月> ネットワーク性能評価論 (研究指導)
専	教授	塚田 啓二 <平成30年4月> センサデバイス工学 (研究指導)
専	教授	五福 明夫 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ 人間支援インタフェース論 (研究指導)
専	教授	呉 景龍 <平成30年4月> 神経工学 (研究指導)

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	松岡 順治 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク 論 先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講 (研究指導)
専	教授	永坂 岳司 ＜平成31年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク 論 先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講 (研究指導)
兼任	講師	永坂 岳司 ＜平成30年4月＞
		先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講
専	教授	岡 久雄 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特講 (研究指導)
専	教授	森田 瑞樹 ＜平成31年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特講 (研究指導)
専	教授	兵藤 好美 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 実践基礎看護学特講 (研究指導)
専	教授	狩野 光伸 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 医療技術臨床応用学 【隔年】 (研究指導)
専	教授	出村 和彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 人間共生哲学思想特論 (研究指導)
専	教授	本村 昌文 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 東アジア老年思想史特論 (研究指導)
専	教授	山下 登 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ 医薬品医療機器等法特論 研究倫理と法特論 ※ 医療機器関連法特論 (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	松岡 順治 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク 論 先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講 (研究指導)
兼任	講師	永坂 岳司 ＜平成30年4月＞
		先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講
専	教授	岡 久雄 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特講 (研究指導)
専	教授	森田 瑞樹 ＜平成31年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特講 (研究指導)
専	教授	兵藤 好美 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 実践基礎看護学特講 (研究指導)
専	教授	狩野 光伸 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 医療技術臨床応用学 【隔年】 (研究指導)
専	教授	出村 和彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 人間共生哲学思想特論 (研究指導)
専	教授	本村 昌文 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバン ストインターンシップ 実務インターンシップ 東アジア老年思想史特論 (研究指導)
専	教授	山下 登 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ 医薬品医療機器等法特論 研究倫理と法特論 ※ 医療機器関連法特論 (研究指導)

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	吉葉 恭行 ＜平成30年4月＞
		科学技術開発論 (研究指導)
専	教授	藤井 大児 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 (研究指導)
専	准教授	飛松 孝正 ＜平成30年4月＞
		酵素機能解析学 (研究指導)
専	准教授	金山 直樹 ＜平成30年4月＞
		細胞機能開発学 (研究指導)
専	准教授	吉岡 朋彦 ＜平成30年4月＞
		生体材料表面科学 (研究指導)
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		蛋白質分子設計学 (研究指導)
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		分子遺伝学 (研究指導)
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		オルガネラ機能情報設計学 (研究指導)
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		センサデバイス工学 計測システム応用学 (研究指導)
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		生体信号計測学 (研究指導)
専	准教授	笈田 将皇 ＜平成30年4月＞
		生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ インタープロフェッショナルワーク 論 (研究指導)
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		機能修復医学 (研究指導)
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバ ンスインターンシップ 実務インターンシップ
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学アドバ ンスインターンシップ 実務インターンシップ
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		情報数理論 (研究指導)
専	講師	亀川 哲志 ＜平成30年4月＞
		機能ロボット設計論 (研究指導)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	吉葉 恭行 ＜平成30年4月＞
		科学技術開発論 (研究指導)
専	教授	藤井 大児 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 (研究指導)
専	准教授	飛松 孝正 ＜平成30年4月＞
		酵素機能解析学 (研究指導)
専	准教授	金山 直樹 ＜平成30年4月＞
		細胞機能開発学 (研究指導)
専	准教授	吉岡 朋彦 ＜平成30年4月＞
		生体材料表面科学 (研究指導)
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		蛋白質分子設計学 (研究指導)
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		分子遺伝学 (研究指導)
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		オルガネラ機能情報設計学 (研究指導)
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		センサデバイス工学 計測システム応用学 (研究指導)
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		生体信号計測学 (研究指導)
専	准教授	笈田 将皇 ＜平成30年4月＞
		生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ インタープロフェッショナルワーク 論 (研究指導)
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		機能修復医学 (研究指導)
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバ ンスインターンシップ 実務インターンシップ
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学アドバ ンスインターンシップ 実務インターンシップ
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		情報数理論 (研究指導)
専	講師	亀川 哲志 ＜平成30年4月＞
		機能ロボット設計論 (研究指導)

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ 研究倫理と法特論 ※ 臨床死生学特論 (研究指導)
専	助教	森 光一 ＜平成30年4月＞ (研究指導)
専	助教	早川 徹 ＜平成30年4月＞ (研究指導)
専	助教	曲 正樹 ＜平成30年4月＞ (研究指導)
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞ 臨床研究学
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞ 地域社会ヒューマンケア論
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞ 組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※
兼任	教授	黒田 昌宏 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	教授	森本 美智子 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	教授	中村 隆夫 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	教授	竹田 芳弘 ＜平成30年4月＞ 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	准教授	頼藤 貴志 ＜平成30年4月＞ 臨床研究学
兼任	准教授	岡田 正弘 ＜平成30年4月＞ 組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	准教授	沖中 由美 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	准教授	澁谷 光一 ＜平成30年4月＞ 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特論 ※
兼任	講師	西崎 正彦 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講
兼任	講師	林 行成 ＜平成30年4月＞ 医療ビジネスマネジメント論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンス インターンシップ 実務インターンシップ 研究倫理と法特論 ※ 臨床死生学特論 (研究指導)
専	助教	森 光一 ＜平成30年4月＞ (研究指導)
専	助教	早川 徹 ＜平成30年4月＞ (研究指導)
専	助教	曲 正樹 ＜平成30年4月＞ (研究指導)
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞ 臨床研究学
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞ 地域社会ヒューマンケア論
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞ 組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※
兼任	教授	黒田 昌宏 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	教授	森本 美智子 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	教授	中村 隆夫 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	教授	竹田 芳弘 ＜平成30年4月＞ 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	准教授	頼藤 貴志 ＜平成30年4月＞ 臨床研究学
兼任	准教授	岡田 正弘 ＜平成30年4月＞ 組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	准教授	沖中 由美 ＜平成30年4月＞ インタープロフェッショナルワーク 論
兼任	准教授	澁谷 光一 ＜平成30年4月＞ 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT ＜平成30年4月＞ ヘルスシステム統合科学特論 ※
兼任	講師	西崎 正彦 ＜平成30年4月＞ 先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特 講
兼任	講師	林 行成 ＜平成30年4月＞ 医療ビジネスマネジメント論



(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月>
		医療リスクマネジメント論
兼任	講師	末次 寧 <平成30年4月>
		複合機能設計学
兼任	講師	山本 玲子 <平成30年4月>
		細胞制御材料学
兼任	講師	菊池 正紀 <平成30年4月>
		組織再建材料学

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月>
		医療リスクマネジメント論
兼任	講師	末次 寧 <平成30年4月>
		複合機能設計学
兼任	講師	山本 玲子 <平成30年4月>
		細胞制御材料学
兼任	講師	菊池 正紀 <平成30年4月>
		組織再建材料学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・平成31年4月専任教員として就任予定であった永坂教授が就任を辞退した。現在、担当予定科目を担当する後任補充人事を進めており、平成30年度中には教員資格審査を受け科目を担当する予定である。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
19	11	4	3	37	20	11	4	3	38	18	11	4	3	36
(20)	(11)	(4)	(3)	(38)						[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
34	1	2			35	1	2			33	1	2		
(35)	(1)	(2)								[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{36}{37} = \boxed{97.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{38} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	永坂 岳司	必修	ヘルスシステム統合科学特論 ※	③	他大学へ転出し、本学への就任する意思が無いことが確認されたため就任辞退（30）	
			選択	インタープロフェッショナルワーク論	③		
			選択	先端医療疾病管理特講	③		
			選択	ヘルスシステム統合科学応用学特講	③		
			必修	（研究指導）	③		
合計（D）			後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	0 科目	計	5 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし。					
合計（F）			後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	0 科目	計	5 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし。					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

永坂教授は平成31年4月に専任教員として就任予定であったが、平成30年4月2日付け本人から就任辞退届けが提出された。現在、永坂教授が担当する予定であった科目を担当できる後任補充人事を進めており、平成30年度中には教員資格審査を受け平成31年4月からは問題無く科目を担当する予定であることから、学生の履修等へは影響は生じない見込みである。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

＜ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）＞

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数 12単位 必修科目5単位, 選択科目7単位  ② 施設・設備 a 講義室163室 (16,812㎡) 研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数 b 自習室9室 (461㎡) c 図書2,049,625冊 研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 研究科学務委員会 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 学務委員会としてH30年度中に11回開催予定 (委員長の他、4名：研究分野毎選出の委員) c 委員会の審議事項等 ・研究科の教務及びFDに関する事項, 入試制度方法に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 7. 平成29年度岡山大学新任教員研修 (H29. 4. 27開催) 岡山大学の教育課題, FD・SDワークショップ, FD・SD講演, 学生のメンタルヘルスについて説明 1. 平成29年度教職員FD・SD研修「桃太郎フォーラム」 (H29. 9. 12開催) 学外識者によるFD講演, 教職員及び学生による分科会・セミナーの実施 4. ヘルスシステム統合研究科開設前FD研修会 b 実施方法 7. 講演方式 (一部ワークショップ形式) 1. 講演方式・セミナー形式 4. 講演会方式・ワークショップ形式 c 開催状況 (教員の参加状況含む) 7. H29. 4. 27 (49名) 開催 1. H29. 9. 12 (235名) 開催 4. H30. 3. 30 (42名) 開催 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学修意欲を高める授業の工夫, ルーブリックの活用における授業設計と成績評価 4. に於いては, 学生に対する教育・研究指導方針について, 各部門における意識の共有を図った。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 全学的に実施, 前期前半に1回実施予定 b 教員や学生への公開状況, 方法等 5名以上の授業科目が無く, 未実施の予定
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)



(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える平成32年3月以降を予定している。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に大学改革支援・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 8 月 31 日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。